

# 遺伝子解析技術を地域産業の力に

2014年に創業し、バイオベンチャーとして遺伝子解析を中心に事業を展開。遺伝子関連技術は医療、創薬、育種などの特定分野以外での汎用的利活用があまり進んでおらず、これまで馴染みの薄い分野への適用を拡大すべく、農林水産分野や健康分野での事業化を展開・準備中。

## <企業プロフィール>

社名	瑞輝科学生物株式会社
創業	2014年
資本金	500万円
所在地	福岡県久留米市百年公園1番1号
代表者	代表取締役 草野 輝彦
従業員数	5人
事業内容	バイオ関連事業

## 【経緯・背景など】

代表の草野氏にとって、環境問題の解決に貢献するのはサイエンスであるとの思いが、環境ビジネスに取り組む基礎となっている。経済優先から環境配慮型への経営者の意識変化を感じつつ、SDGsのゴールと自社事業を結びつけながら事業推進を行っている。

## 【具体的な取組】

### 次世代シーケンサーを使ったサービス

「次世代シーケンサー」とは、遺伝子の塩基配列を高速に読み出せる装置。次世代シーケンサーを使って、土壌内の微生物を解析しイチゴ炭疽病の発症を抑制する土壌改良剤や、口腔内の細菌を解析しインプラント治療をした歯の周りに歯周病が起きるインプラント周囲炎の診断ツールなど、農業、健康、環境分野での遺伝子解析サービスと商品開発に取り組んでいる。

### 化学物質等に関する生体影響試験

環境省で取組を進めていた排水規制に関連して、排水の水生生物への影響を測定するための生体影響試験を行っている。この試験は魚類、藻類、ミジンコなどを用いて行われるが、同社では、維持管理コストの低いミジンコを使った試験をサービスとして提供している。

## 【取り組んだ成果】

歯周病の検査キット「ペリオスコア」、頬や額の細菌（肌フローラ）の検査キット「S-KIN」の開発が高く評価され、2019年「第9回ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を受賞。生物の力に着目し、遺伝子解析の技術を様々な分野に応用することで、新たなビジネスチャンスを生み出し、バイオ技術での地元への貢献を加速している。

また、世界の共通認識であるSDGsとの関わりを示すことで、より効果的に自社事業の意義を発信することができる。

